

学修の実態および成果に関するアンケート 結果報告

学務部

<アンケートの目的>

本調査は、学生の学修行動と学修成果に関する実態を把握し、今後の教育の質向上に資する基礎資料を得ることを目的に行った。

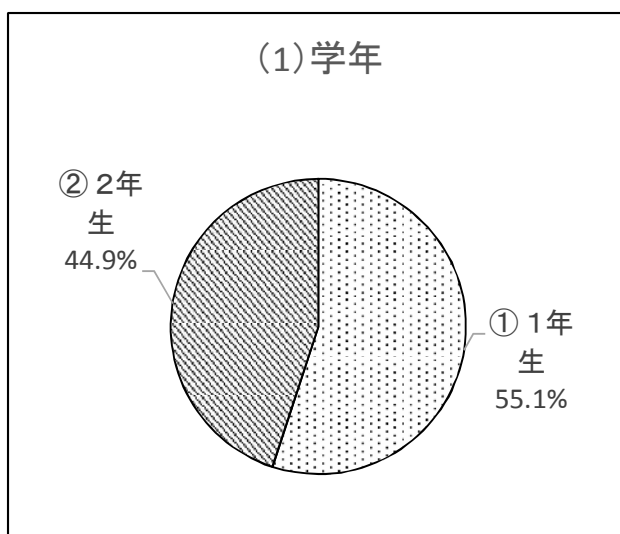
<対象> 東京成徳短期大学幼児教育科 1, 2年生

<調査時期> 平成31年1月中旬(1年) 3月中旬(2年)

<回収率> 対象者数：1年生190名、2年生156名、計346名
回答者数：276名 回答率：79.8%

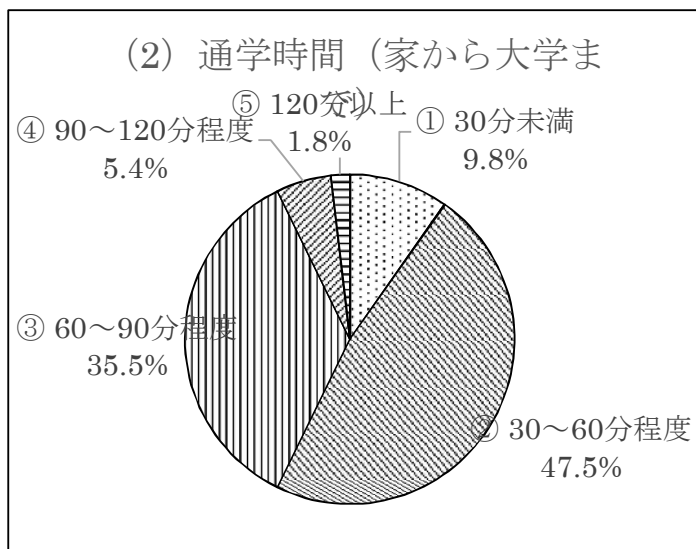
<集計結果>

	① 1年生	② 2年生	計
人数	152	124	276
割合	55.1%	44.9%	100.0%



(2) 通学時間(家から大学まで)

	① 30分未満	② 30～60分程度	③ 60～90分程度	④ 90～120分程度	⑤ 120分以上	計	無回答
人数	27	131	98	15	5	276	0
割合	9.8%	47.5%	35.5%	5.4%	1.8%	100.0%	



※①は30年度の状況

②は29年度と30年度の比較

①最も多いのは「②30～60分程度」であり、次いで「③60～90分」であった。また、約1割弱の学生は「①30分未満」であった。
②29年度同様「②30～60程度」が40パーセントを超えている。

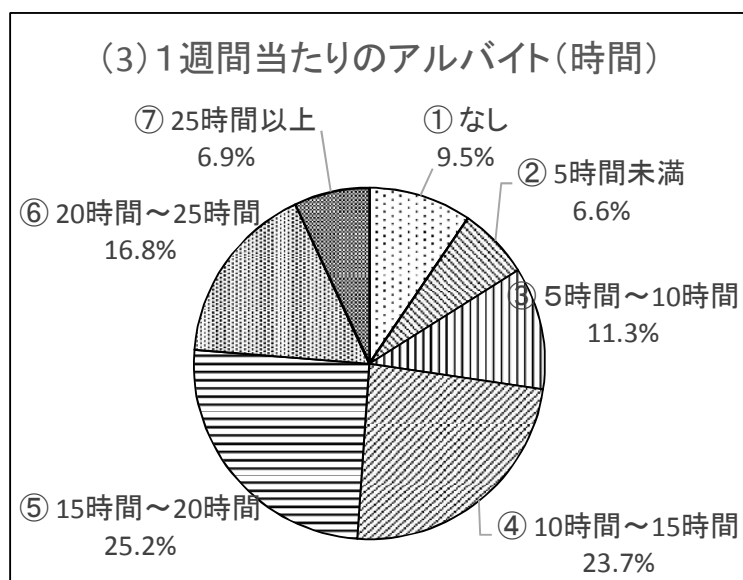
(参考) 東京成徳大学*

- ①15.9%
- ②44.5%
- ③27.7%
- ④9.2%
- ⑤3.1%

※東京成徳大学 企画・IR室「学修調査(行動・成果調査)報告書」平成30年2月 (以下同様)

(3) 1週間当たりのアルバイト(時間)

	① なし	② 5時間未満	③ 5時間～10時間	④ 10時間～15時間	⑤ 15時間～20時間	⑥ 20時間～25時間	⑦ 25時間以上	計	無回答
人数	26	18	31	65	69	46	19	274	2
割合	9.5%	6.6%	11.3%	23.7%	25.2%	16.8%	6.9%	100.0%	



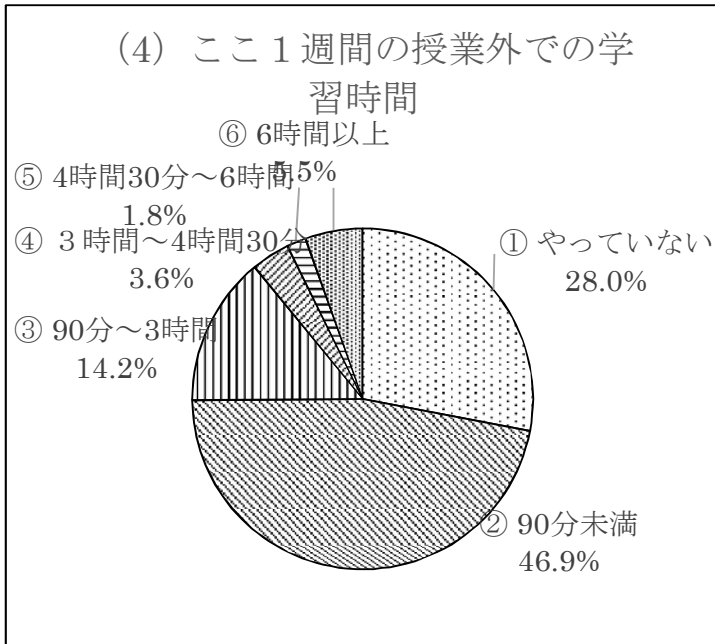
① 「④10～15時間」と⑤15時間～20時間を合計すると48.9パーセントになる。20時間以上が20パーセントを超えている。

②5時間未満が減少した2パーセント減少し20時間以上が1パーセント増加している。

(参考) 東京成徳大学

- ①16.0%
- ②4.5%
- ③14.7%
- ④22.3%
- ⑤23.1%
- ⑥11.7%
- ⑦7.6%

(4) ここ1週間の授業外での学習時間								
	① やって いない	② 90分 未満	③ 90分 ～3時間	④ 3時 間～4時 間30分	⑤ 4時 間30分 ～6時間	⑥ 6時 間以上	計	無回答
人数	77	129	39	10	5	15	275	1
割合	28.0%	46.9%	14.2%	3.6%	1.8%	5.5%	100.0%	

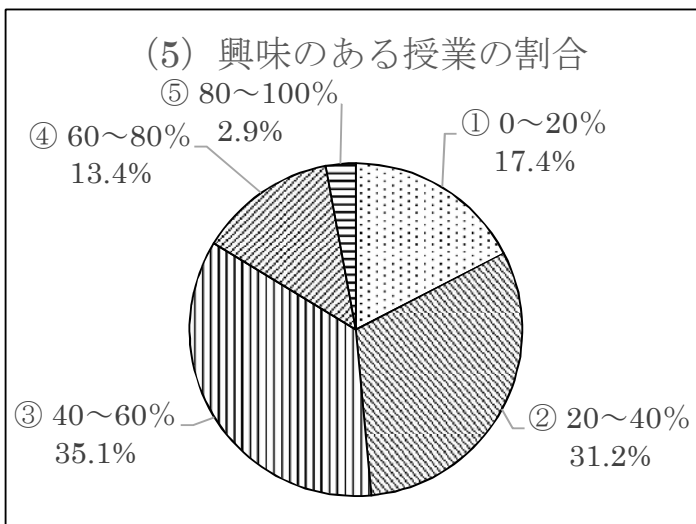


①調査時期が1月中旬であったことから、学期末の試験準備や課題等も多かったのではないと思われる。また、2年生は3月になった為学習の必要がなかったと思われる。結果28パーセントの学生が「①やっていない」と回答している。
②時期のズレがあるために難しい。

(参考) 東京成徳大学
「先生に指示された授業の発表の準備、課題やレポート、宿題を1週間合計でどのくらいやりましたか」

- ① 7.2%
- ② 33.1%
- ③ 36.3%
- ④ 13.7%
- ⑤ 6.2%
- ⑥ 3.6%

(5) 興味のある授業の割合							
	① 0～ 20%	② 20～ 40%	③ 40～ 60%	④ 60～ 80%	⑤ 80～ 100%	計	無回答
人数	48	86	97	37	8	276	0
割合	17.4%	31.2%	35.1%	13.4%	2.9%	100.0%	

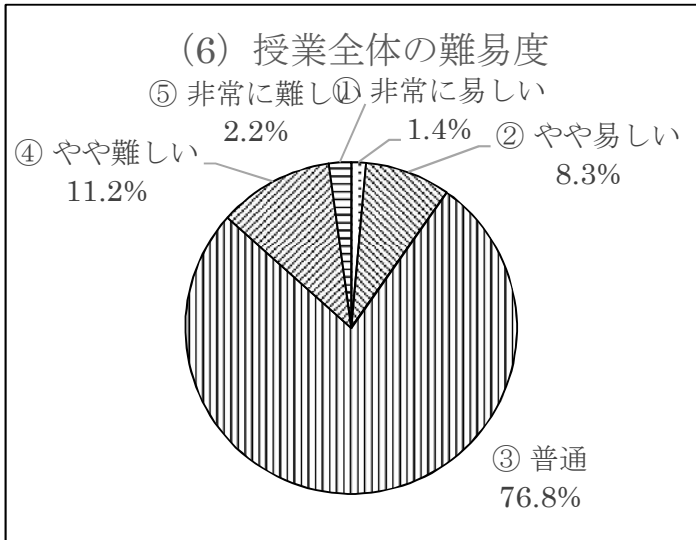


①「③40～60%」と回答した学生が最も多い。次いで「②20～40%」であった。
②20パーセント以下が5パーセント減少している。

(参考) 東京成徳大学

- ① 7.8%
- ② 18.3%
- ③ 38.1%
- ④ 26.8%
- ⑤ 8.9%

(6) 授業全体の難易度							
	① 非常に易しい	② やや易しい	③ 普通	④ やや難しい	⑤ 非常に難しい	計	無回答
人数	4	23	212	31	6	276	0
割合	1.4%	8.3%	76.8%	11.2%	2.2%	100.0%	



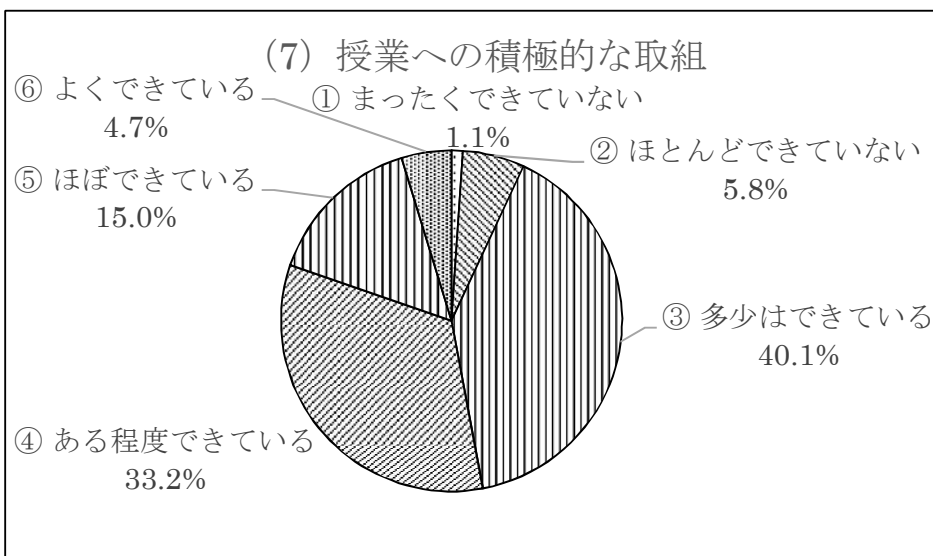
①約 7 割の学生が「③普通」と回答している。その一方で「①非常に易しい」、「②やや易しい」、反対に「⑤非常に難しい」、「④やや難しい」という学生もいる。

②「④やや難しい」が 3 パーセント減り「③普通」が 3 パーセント増えている。

(参考) 東京成徳大学

- ① 4.8%
- ② 10.0%
- ③ 63.7%
- ④ 18.9%
- ⑤ 2.6%

(7) 授業への積極的な取組								
	① まったくできていない	② ほとんどできていない	③ 多少はできている	④ ある程度できている	⑤ ほぼできている	⑥ よくできている	計	無回答
人数	3	16	110	91	41	13	274	2
割合	1.1%	5.8%	40.1%	33.2%	15.0%	4.7%	100.0%	



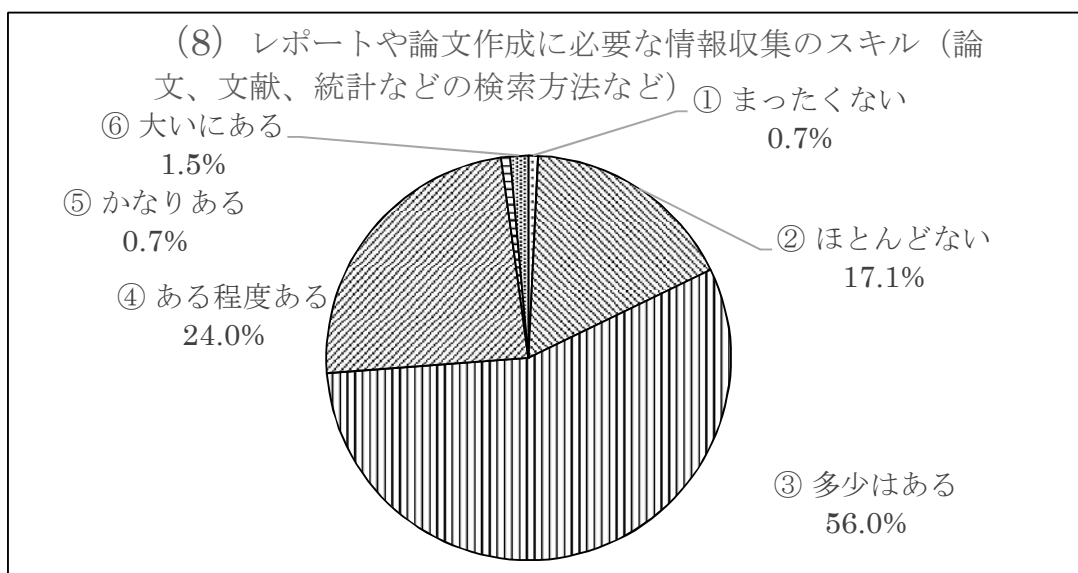
①授業に対する積極的な取組が「①まったくできていない」、「②ほとんどできていない」と回答した学生は、合わせて 6.9%いる。

②「①まったくできていない」、「②ほとんどできていない」は 1.5 パーセント減り「⑥よくできている」が 2.4 パーセント増えている。

(参考) 東京成徳大学

- ① 2.0%
- ② 6.3%
- ③ 32.3%
- ④ 31.8%
- ⑤ 21.1%
- ⑥ 6.8%

(8) レポートや論文作成に必要な情報収集のスキル (論文、文献、統計などの検索方法など)								
	① まったくない	② ほとんどない	③ 多少はある	④ ある程度ある	⑤ かなりある	⑥ 大いにある	計	無回答
人数	2	47	154	66	2	4	275	1
割合	0.7%	17.1%	56.0%	24.0%	0.7%	1.5%	100.0%	

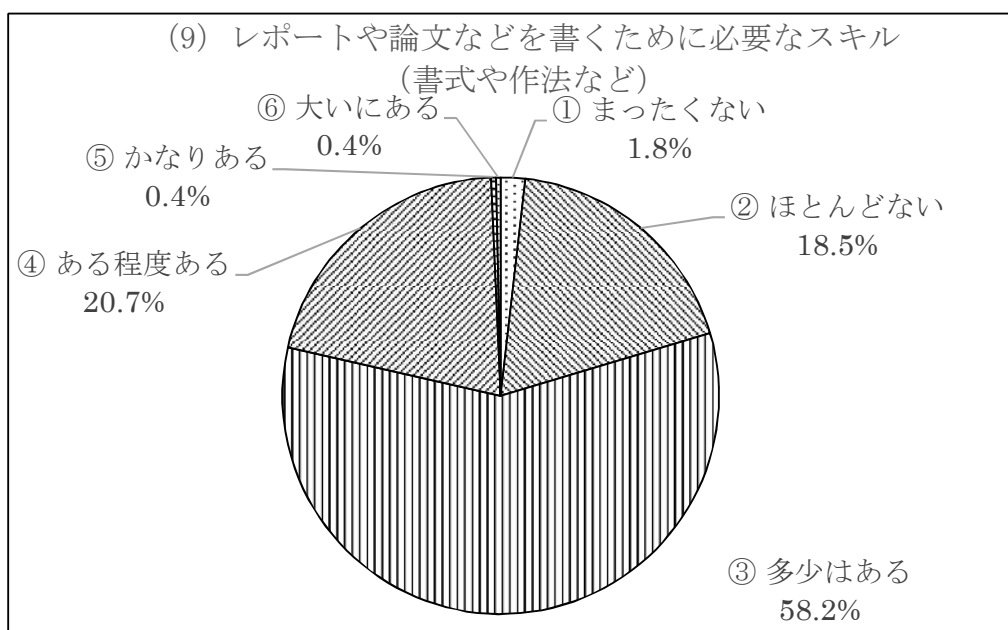


①最も多いのは「③多少はある」であった。また、「④ある程度+⑤かなり+⑥大いにある」と回答した学生は全体の約1/4であった。
②「①まったくない」は3.1パーセント減った。

(参考) 東京成徳大学

- ① 8.5%
- ② 28.1%
- ③ 45.7%
- ④ 14.7%
- ⑤ 2.2%
- ⑥ 0.8%

(9) レポートや論文などを書くために必要なスキル (書式や作法など)								
	① まったくない	② ほとんどない	③ 多少はある	④ ある程度ある	⑤ かなりある	⑥ 大いにある	計	無回答
人数	5	51	160	57	1	1	275	1
割合	1.8%	18.5%	58.2%	20.7%	0.4%	0.4%	100.0%	



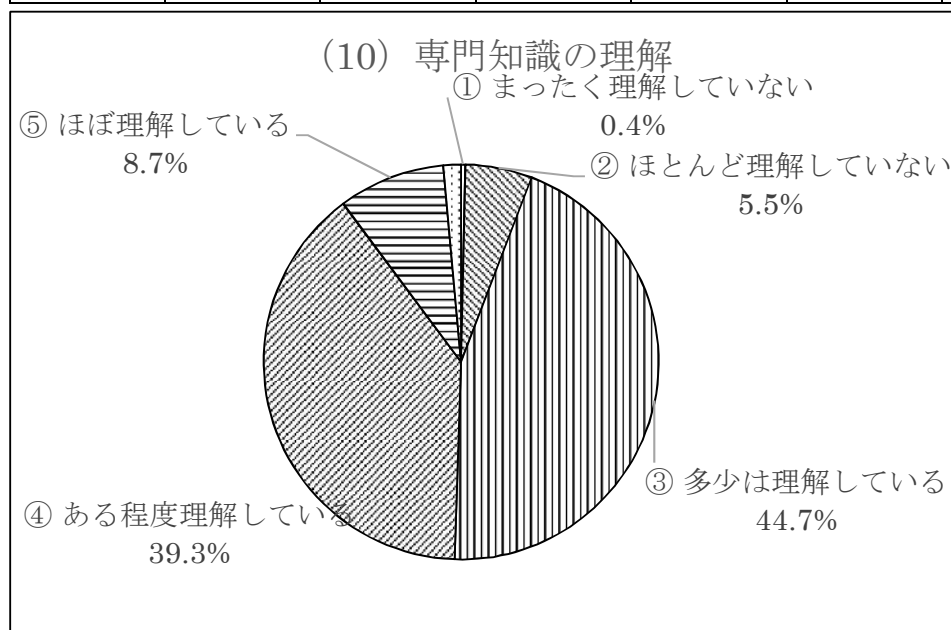
①最も多いのは「③多少はある」であった。
②「①まったくない」は3.6パーセント減少した。

(参考) 東京成徳大学

- ① 8.0%
- ② 24.6%
- ③ 47.1%
- ④ 17.1%
- ⑤ 2.3%
- ⑥ 0.9%

(10) 専門知識の理解

	① まったく理解していない	② ほとんど理解していない	③ 多少は理解している	④ ある程度理解している	⑤ ほぼ理解している	⑥ よく理解している	計	無回答
人数	1	15	123	108	24	4	275	1
割合	0.4%	5.5%	44.7%	39.3%	8.7%	1.5%	100.0%	



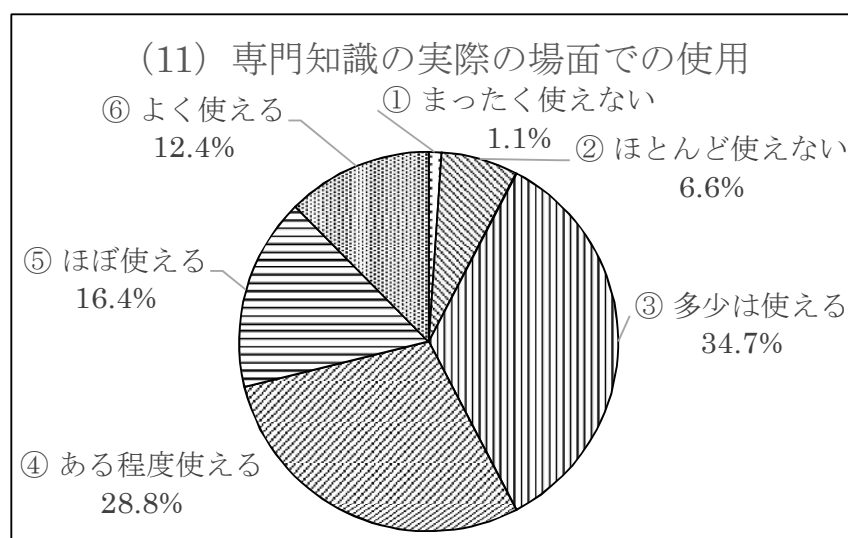
①約半数の学生が、専門的知識について「③多少は理解している」と回答している。
②「⑤ほぼ理解している」「⑥よく理解している」が1.5パーセント増えている。

(参考) 東京成徳大学

- ① 6.2%
- ② 16.6%
- ③ 51.4%
- ④ 21.2%
- ⑤ 3.8%
- ⑥ 0.9%

(11) 専門知識の実際の場面での使用

	① まったく使えない	② ほとんど使えない	③ 多少は使える	④ ある程度使える	⑤ ほぼ使える	⑥ よく使える	計	無回答
人数	3	18	95	79	45	34	274	2
割合	1.1%	6.6%	34.7%	28.8%	16.4%	12.4%	100.0%	

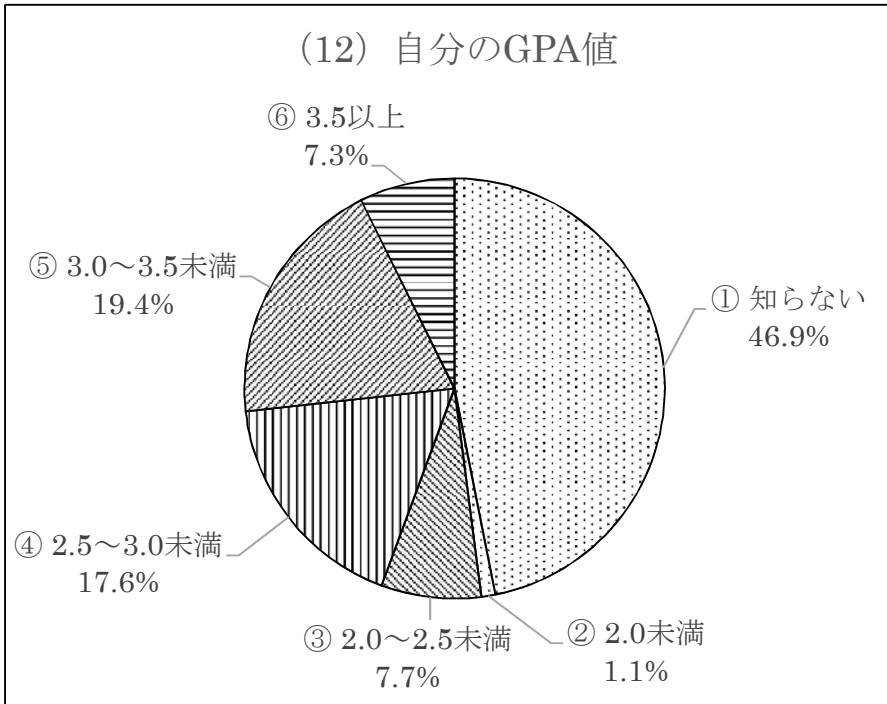


①専門知識の実際場面での使用については、「③多少は使える」と「④ある程度使える」が、全体の6割強を占めている。
②「⑤よく使える」が4.3パーセント増えている。

(参考) 東京成徳大学

- ① 8.3%
- ② 28.2%
- ③ 44.5%
- ④ 15.3%
- ⑤ 2.6%
- ⑥ 1.1%

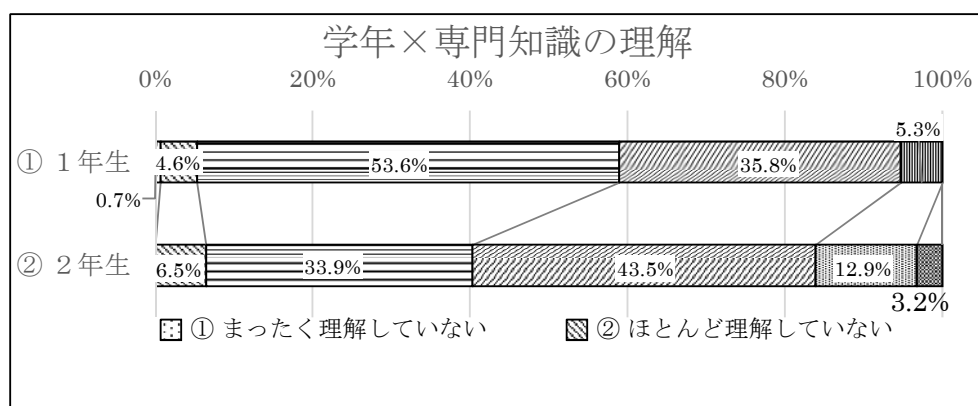
(12) 自分のGPA値									
	① 知らない	② 2.0未満	③ 2.0～2.5未満	④ 2.5～3.0未満	⑤ 3.0～3.5未満	⑥ 3.5以上	計	無回答	
人数	128	3	21	48	53	20	273	3	
割合	46.9%	1.1%	7.7%	17.6%	19.4%	7.3%	100.0%		



①自分のGPAについて半数近くの学生が「①知らない」と回答している。
 ②昨年と大きな差異はない。

(1) 学年 × (10) 専門知識の理解

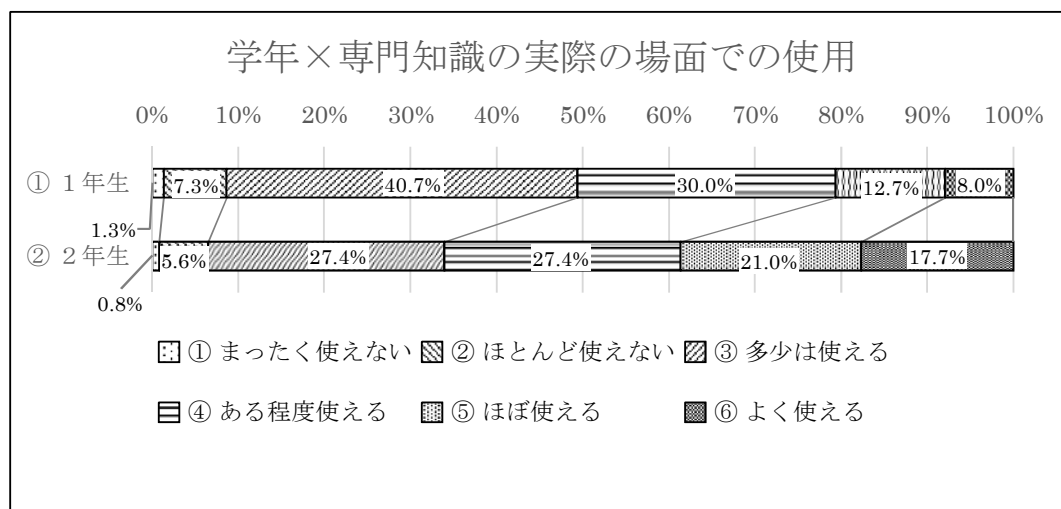
		専門知識の理解						計
		① まったく理解していない	② ほとんど理解していない	③ 多少は理解している	④ ある程度理解している	⑤ ほぼ理解している	⑥ よく理解している	
学年	① 1年生	1	7	81	54	8	0	151
	② 2年生	0	8	42	54	16	4	124
	計	1	15	123	108	24	4	275



① 「⑥よく理解している」「⑤ほぼ理解している」への回答率は1年生より2年生が高い。
 ② 「⑤ほぼ理解している」「⑥よく理解している」2年生で5パーセント伸びている。

(1) 学年 × (11) 専門知識の実際の場面での使用

		専門知識の実際の場面での使用						計
		① まったく使えない	② ほとんど使えない	③ 多少は使える	④ ある程度使える	⑤ ほぼ使える	⑥ よく使える	
学年	① 1年生	2	11	61	45	19	12	150
	② 2年生	1	7	34	34	26	22	124
	計	3	18	95	79	45	34	274



① 「⑥よく使える」, 「⑤ほぼ使える」への回答率は1年生より2年生が高い。
 ② 「よく使える」は2年生で6.8パーセント増加している。

(11) 専門知識の実際の場面での使用 × (12) 自分の GPA 値

		専門知識の実際の場面での使用						計
		① まったく使えない	② ほとんど使えない	③ 多少は使える	④ ある程度使える	⑤ ほぼ使える	⑥ よく使える	
自分の GPA 値	① 知らない	1	7	53	35	21	9	126
	② 2.0 未満	1	0	1	0	1	0	3
	③ 2.0～2.5 未満	0	4	7	4	3	3	21
	④ 2.5～3.0 未満	0	3	15	11	10	9	48
	⑤ 3.0～3.5 未満	1	1	14	19	8	10	53
	⑥ 3.5 以上	0	2	4	9	2	3	20
	計	3	17	94	78	45	34	271

